

彦糸中学校 便い やればできる!

学校教育目標

磨き合う
学ぶ系中 心の系中 鍛える系中

生徒数 273名
1年 85名
2年 86名
3年 102名

三郷市立彦糸中学校 だより
令和6年2月号
三郷市彦成3-14-4
TEL.048(957)1215
FAX.048(959)5579

生活目標

- ・テストや試験に向けて、授業への意識を高めよう。
- ・身のまわりの環境を整え、校舎をきれいに保とう。

「ボランティア スピリッツ」

校長 滝沢 慎

「ボランティアは、面倒くさい」「自分の利益にならないものはやらない」果たしてそれで良いのでしょうか？

私が中学生だったころ、「奉仕」という言葉はありましたが、「ボランティア」という言葉は、それほどメジャーではなかったと思います。

そもそも、無償で他人の為に行動することが、どれだけの価値を持つのでしょうか？

日本人の心が大きく変わったのは、平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年の東日本大震災だったのではないのでしょうか。寂しく悲しい出来事ですが、大災害により日本人のボランティアに対する意識やボランティアに対する感謝の気持ちが大きく変わりました。

阪神・淡路大震災では、延べ138万人、東日本大震災では、延べ102万人のボランティアの人が活躍されたと聞いています。

能登半島地震において、多くの方が命を落とされ、家がなくなり、困っている様子が連日マスコミで報道されています。被害に遭われた方、ご家族等、関係者の方々には、衷心よりお見舞い申し上げます。

私は、阪神・淡路大震災、東日本大震災と同様、今回の地震でも、同じ日本に住む者としてショックを受けました。『なにか私にできないか』とも思っています。

ボランティアとは、ラテン語の「ボランタス（自由意志）」を語源としており、自主的・自発的に無償で社会に必要とされている活動を行うことを意味しています。

彦糸中では、日頃から、ボランティア活動に力を入れています。各学期終わりには、ボランティアに携わった皆さんを「ボランティアスピリット賞」という表彰で称えています。朝のあいさつ運動等、入学からこれまでのボランティアに携わった合計回数が示されます。50回を超えた人が複数いました。これは、たいへんな実績です。

能登半島地震では、HJRC部が中心となり、募金活動をしました。多くのご厚情が集まりました。ありがとうございました。この様子は、新聞の紙面にも、掲載されました。

地域貢献部の活動にも顕著なものがあります。本年度は、校外へ、6回出向きました。フラダンス、太鼓の発表に接した多くの方から、「素敵だった」「良かったよ」という賞賛の言葉をいただきました。

私は、ボランティアに携わっている生徒を見る度に、「糸中生は、なんと素晴らしいのだろう」と、誇らしい気持ちでいっぱいになります。

私たち人間は、決して1人では生きていけません。一生の中では、様々な人と出会い、必ず多くの人に手助けをしてもらいます。

ボランティアの心は、『思いやりの心』『やさしい気持ち』の現れです。

他人から「ありがとう」と感謝され、また、感謝の言葉である「ありがとう」と素直に言える人になりたいものです。

1月のお昼の放送でおすすめした図書館の本

○聲の形（川崎美羽/講談社）○ケーキ王子の名推理（七月隆文/新潮文庫）○アイの歌声を聴かせて（乙野四方字/講談社）○もちまる日記（下僕/KADOKAWA）○だから私は、明日の君を描く（汐見夏衛/スターツ出版）○水族館ガール（木宮条太郎/実業之日本社文庫）○目でみる方言（岡部敬史・文/東京書籍）



2月



日	行事予定	我が家の予定
1	木 ハイパーカゴスタ	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月 生徒評議委員会 専門委員会	
6	火	
7	水 埼玉公立出願(郵送)	
8	木 ハイパーカゴスタ(1,2年)	
9	金 期末テスト(3年) 学力テスト(1,2年)	
10	土	
11	日 建国記念の日	
12	月 振替休日	
13	火 期末テスト(3年)	
14	水 あいさつ運動(糸小) 埼玉公立志願先変更	
15	木 ハイパーカゴスタ 埼玉公立志願先変更 新入生入学予定者説明会	
16	金 PTA理事会	
17	土	
18	日 英検外部会場2次	
19	月	
20	火	
21	水 埼玉公立学力検査 あいさつ運動(郷小) テスト前諸活動停止期間(12年)	
22	木 埼玉公立 実技・面接	
23	金 天皇誕生日 鳩島ライオンズ善行賞表彰式	
24	土	
25	日 英検外部会場2次	
26	月 期末テスト1,2年	
27	火 期末テスト1,2年	
28	水 あいさつ運動(糸中) 月曜日課	
29	木 45分×6 ハイパーカゴスタ	

能登半島地震の 募金活動実施

彦糸中学校 HJRC部が、能登半島地震で被害を受けられた皆さんに対しての募金活動を行いました。昼の放送などで募金活動と呼び掛け1月15日(月)~17日(水)の3日間、朝8時00分~8時10分に正門で募金活動を行いました。3日間の募金活動では、たくさんの皆さんに協力してもらい11,699円の募金を集めることができました。

今回の募金活動については1月22日の埼玉新聞にも掲載していただきました。新聞に掲載された部長の宇田川くれあさんのコメントを紹介します。「多くの生徒や先生から寄付が集まった。被災者を支援したいという気持ちが現地に届いたらうれしい」

今回の地震被害の大きさを考えると多方面からの支援が必要になります。私たち個々の支援は微力ですが、みんなの気持ちが集まればとても大きなものになります。今後も助け合いの気持ちを大切にしていきたいと思います。



彦糸中さわやか相談室の利用について 子育てのいろいろな悩み 気軽に電話下さい

2月のスクールカウンセラー勤務日は、2月8、15、22、27、29日の木曜日です。

◎さわやか相談室直通電話

048-958-1213

◎SC・李 舜哲/相談員・我妻知子

1 学年スキー教室開催

1 学年は、1 月 23 日(火)～25 日(木)に、長野県の菅平高原スキー場で、2 泊 3 日でスキー教室を開催しました。スキーを滑るのがはじめての生徒も多かったのですが、3 日間のスキー教室でとても上手になり、最終日は、難しいコースを滑るグループも増えました。1 学年のスローガンは、「思い出の 1 ページ～あいの力で冬の大自然をのりきれ～」でしたが、ルールとマナーを守り、友達と仲良く過ごし、素晴らしいスキー教室になりました。



いのちの授業開催

11 日(木)、越谷市立病院の助産師の先生に本校にきて、いのちの授業を開催しました。1 年生は 2 時間目、2 年生は 3 時間目、3 年生は 4 時間目と、各学年 1 時間ずつお話をしてもらいました。1 年生は思春期の身体や心の成長と変化、LGBTQ 等について学びました。2 年生は命の誕生の流れについて、母親の身体の中での子供の成長過程等を学びました。3 年生は性の選択について、未来の責任や判断の大切さ等について学びました。各学年の発達段階に応じて大切なお話をいただきました。

生徒たちの感想から、たくさんのお話を学んだ生徒が多かったようですが、今後も様々な情報を得て、正しい判断をしてほしいと思います。講師の先生方におかれましては、大変お忙しい中、来校いただきありがとうございます。



支援担当訪問実施

18 日(木)、三郷市教育委員会・東部教育事務所の先生方にお越しいただき、授業研究会を開催しました。本校の教諭が 2 年 2 組で国語の研究授業を行いました。「走れメロス」を題材に、課題を生徒に設定させ、深く考えさせる授業でした。タブレット等も使用しながら、主人公の人物像にせまる素晴らしい授業でした。すべての生徒たちが主体的に取り組みました。本日も指導いただきました先生方、ありがとうございました。



3 学期の抱負

3 学期を迎えるにあたり、始業式で生徒会、各学年の代表が抱負の発表をしてくれました。紹介させていただきます。



みなさんの冬休みは、充実した休みになりましたか。十七日間という短い時間でしたが、三年生は受験に向けて最後の追い込みをしたり、二年生は、三年生のゼロ学期のスタートを良い形でできるように勉強を一生懸命取り組んだり、一年生はスキー教室のときに、何事もなく終わられるように五分前行動を意識したり、忘れ物をせず、当たり前前を当たり前前にすることを、冬休みを通してできたでしょうか。

私自身は受験に向けて少しでもみんなとの差をつけられるように自主勉強やプリントの直しなどを積極的に行えた冬休みとなりました。三学期は、今の学年をきちんと締めくくり、次のステージ、次の学年へと繋ぐ、一年で一番大事な学期です。準備をするという意識を持つことが必要です。自分で築き上げてきたことをこの三学期で発揮できるようにしましょう。生徒会では、一、二学期の様々な行事の中心となり活動をしてきました。三学期は、卒業式があります。私たちが系中全体の中心となり、皆さんと最高の卒業式を行えるよう活動していきたいと思っています。そして、今のクラスで過ごせるのも残り三か月です。一人一人がクラスで何をしたいか、何を残して次の学年、進路へと進めるのかを考えてみてください。きっと数多くあると思います。三学期を通して自分はどう成長したいのか、一人一人が考え、残りの時間を過ごしてください。



今日から三学期が始まります。また、約三か月後には二年生になり、一つ先輩になります。私は先輩として頼ってもらうために、三つのことを頑張ります。一つ目は、二週間後にあるスキー教室を成功させることです。私は現在、実行委員を務め、させていただいています。部屋ごとの係別会議、事前学習を通して準備してきました。また、忘れ物を減らすために、重点課題達成ウィークというものを行いました。この重点課題達成ウィークは行事のためだけにしないようにしていきます。そして、担当の先生方の「スキー教室は成功して当たり前」という言葉や、スローガンである「思い出の 1 ページ、あいの力で冬の大自然を乗りきれ！」を胸にスキー教室を成功させたいです。二つ目は学習です。学習は、話を聞くだけの授業ではなく、わからないことがあったら積極的に質問をします。そうすることで、テストで点数をしっかりと取れると思いました。また、今までの自分を見つめ直し、一、二学期より通知表の結果にこだわりながらも、一年間の復習をして、二年生につなげていきたいです。三つ目は部活動です。私は卓球部に所属しています。新人戦は、先輩の力で県大会に行くことができました。そして、目標だった一回戦勝利をし、ベスト 3 2 まで上がれました。そして、新一年生が入部してくれたとき、先輩のように部活を引っ張っていくことができるようになります。そして、頼ってもらえる先輩になり、次の目標であるベスト 1 6 を目指し頑張ります。



私は、この二年生の三学期を、三年生の 0 学期として覚悟と自覚を持ちたいです。なぜなら受験生になったら毎日コツコツと勉強しないと追いつけないほど難しかったり、忙しく疲れている中でも勉強をしないといけなかったりするからです。具体的には次の二つのことを実践します。一つ目は、一、二年生の復習です。一年生の時にわからなかったこと、忘れてしまったことをできるようにするためにも、復習は、特に時間をかけてやりたいです。部活では、通信陸上に向けて仲間にももらったアドバイスを自分の走りにつなげたり、筋トレをして、体力をつけたいです。それから、私の目標を引退するまでに達成するために更なる努力を重ねていきたいです。最後に、私は青学年の一員として、気遣いのできる人になりたいです。この三学期は勉強や部活などを頑張る人が増えると思います。でも、忙しくても心をなくさずいるために、少しでも「ありがとう」が増える学年にしたいです。そして、気持ちを言葉にすることで、恥ずかしさも減っていき、拳手回数も増えると思います。だから、積極性の増える青学年にもしていきたいです。



2024 年、新しい年が始まりました。皆さんは有意義な冬休みを過ごすことができましたか。私たち三年生は、受験に向けてそれぞれが一生懸命勉強する冬休みになったと思います。

私は、小学校から続けているサッカーで高校に進学しようと考えています。そのために、日頃からクラブチームでたくさん練習してきました。冬休みは、より力を入れて取り組みました。私にとってサッカーは、自分らしさを最大限発揮することができる場所だと感じています。なので、自分磨きをし、将来に向けての第一歩を踏み出していきたいです。また、冬休みは、勉強にも力を注ぎました。私は、英語に対して苦手意識があります。なので、英語を覚えたり、文法の見直しなどをしたりして、少しでも苦手意識がなくなるよう努力しました。英語だけでなく、他の四教科の勉強もし、受験に向けて一生懸命取り組みました。

高校の私立受験まで約十五日、公立受験まで約一か月となりました。それぞれがそれぞれの課題を乗り越え、受験で最善を尽くせるように頑張っていきたいと思います。そして、三月十五日、三学年全員が笑顔で卒業できるようにしましょう。